

確固たる技術を活用し新領域での存在感の発揮を目指す

会社名 旭英フォーム株式会社
 所在地 岡山県倉敷市栗坂467-15
 従業員 5名
 資本金 1,000万円
 売上高 5,000万円
 業種 ウレタン成形用金型の製作(製造業)

旭英フォーム
 KYOKUEI FORM Inc.



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- これまでに蓄積されてきたアルミ鋳造技術、金属加工技術をベースに、キャンプ用の飯盒(メスティン)やフライパン(スキレット)製品開発を通じて、自社の技術開発力を磨くと共に、キャンプ愛好家(BtoC市場)への市場開拓を図る

支援を受けてできるようになったこと

After

- BtoC市場に対する製品提供に取り組むにあたって必要なビジネスモデルの構築
- ブランド及びメインコンセプトの創出のための検討方法や磨き上げの手法を実践「KEI×F」ブランドを立ち上げた
- 訴求力のある商品デザインの洗練方法、販売方法の具体的な最適化について実践

今後の事業展開の展望

Future

- アルミ製極厚スキレットセットのEC販売を開始。年間300セットの販売を目指す
- 商品ラインの充実や販売ルートの開拓など、収益性の拡大のための施策を展開
- 商品の訴求力を高める他者との連携・コラボレーションなどの企画を創出し着実に実行していく

重点支援を受けた事業や商材

二輪車用ウレタンシートのモールド成型を開始し、「ウレタン成型用」の「アルミ金型」に特化し技術力を磨いてきた。モデル製作から、鋳型、鋳造、金型、ウレタン製品の試作まで一貫生産が可能であり、多品種少量生産への対応を得意とする。

BtoB(下請け)からの脱却を図るため自社製品の開発を行い、収益を上げたいと考え、アルミ鋳造技術が活かせる製品としてキャンプ用品(飯盒やフライパン)の試作を開始した。



【出典】KEI×Fホームページ <https://keixf.jp/>



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場特性を踏まえて強みやリソースを活用したプロダクト開発と知財化、商品としての仕上げ、適切なプロモーションなど取り組むべき課題は多い ■ 事業ゴールに向けた事業戦略の構築とアクションの検討整理が必要
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 知財意識の高い競合他社も多く、類似品・模倣品も存在する市場にあって、自社製品を保護するための権利化だけでなく、他社権利を侵害しないクリアランス調査も重要。ノウハウ管理を含む知財戦略の策定と実行は不可欠
ブランド戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たなビジネスモデルに取り組むにあたり、当社のこだわりを込めたブランドコンセプトを明確にしたブランド戦略策定や商標権の取得が必要
販売戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ■ BtoC市場に向けた効果的な営業活動を進めることが目標達成には不可欠 ■ 市場や商品の特性を踏まえ適切な販路確保も検討が必要
社内体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業規模に見合った社内体制の整備(開発、知財・契約管理、秘密情報管理、製品製造管理、販売・マーケティング)が必要



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要なビジネスモデルの整理(頭出し)を実行。製品デザインのコンセプトの策定やスキレットのデザイン設計を行い、事業推進上の課題抽出と対策を検討。製品アイテムおよびブランドが形になった 	弁理士 デザイン専門家
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ BtoC市場への展開に伴う新ブランドと新商品開発に関して生まれた意匠のクリアランスチェックを実施。併せて意匠出願5件、および商標出願2件を実行(全件登録済み) 	弁理士 デザイン専門家
ブランド戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド化に向けてコンセプト(社長の開発への思いなど)整理を進め、新ブランド「KEI×F」、ロゴマークを策定。以降のPRに向けたタグラインなども設定し実践、改良を実施 	弁理士 デザイン専門家
販売戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業戦略、ブランド戦略に基づく販売戦略を策定。クラウドファンディングや展示会出展に向けブランドイメージを訴求できるキーワードの整理やそれを踏まえたWEBページ作成、展示デザイン、写真、動画等の利用方法、また価格設定や副資材等について策定 	弁理士 デザイン専門家
社内体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内から創出されるアイデアを形にする意識醸成を実践 	弁理士

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛宗則

活用専門家:デザイン専門家

知財総合支援窓口担当者:岡山県知財総合支援窓口 青木高志

PO(プログラムオフィサー):田中和男